KBS
ケイビーエス株式会社
www.kbsjapan.com
【社内報ナルゲ】
날개（ナルゲ）とは韓国語で翼（つばさ）を意味します。

날개 nalgae

vol.57
January 2024

このイラストは AI で生成したものです。

生成AIと翻訳の進化

昨年は人が漠然と想像した文章や画像などをコンピューターが創り出してくれる生成AIという未来的なツールがグッと身近になった。その普及速度は凄まじく、もはや本物かニセモノか判別がつかないレベルだ。あなたが目にしている写真やイラストやコメントでさえもAIが作成したものかもしれない。

翻訳の世界でもAI技術は日進月歩で進化しており、翻訳エンジンによっては人間に匹敵する文章を生成する能力を有しているものもある。

ただし、AIを利用した翻訳には慎重なアプローチが必要である。文化的な差異や表現の違いを正確に捉えることは難しく、誤解を生む可能性がある。また、学習データに含まれる偏りが、特定の視点やバイアスを反映することがあるため、倫理的な検討が欠かせない。

それでも将来的には、人間とAIの連携がますます重要となるだろう。AIはツールとして利用されるべきであり、人間が持つ洞察力や柔軟性と組み合わせることで、より高度な翻訳が実現できるはずだ。

AI技術の進展は着実に言語の障壁を取り払い、異なる言語話者同士のコミュニケーションを促進している。ただし、その利用には慎重なアプローチが求められ、技術と倫理のバランスを取りながら進めていく必要があると言えるだろう。

我が社でもAIと上手く付き合いながら、翻訳業界の未来を見据えていきたい。

代表取締役　高　允　男

「没後 10 年 高仁鳳の軌跡 ～ソウルと大阪の狭間で～」を開催しました。

高さんの痛み、私の痛みをつないで

「没後 10 年 高仁鳳の軌跡」を終えて

実行委員長　岡田　光司

高仁鳳（コウインボン）さんは朝鮮戦争を体験されています。2000 年ごろだったでしょうか。そのことに話が及びました。私は高さんに、「朝鮮戦争について日本は大きな責任がある。その後の朝鮮半島の南北分断についても責任がある。日本人として申し訳ない」と謝りました。そして「今日本に、日本人に、私に出来ることはないでしょうか」と尋ねました。すると高仁鳳さんは苦虫を噛み潰したような顔と声で、「岡田さん、もう遅すぎる」とつぶやきました。いつも陽気で笑顔の高さん。初めて見たお顔です。私は返す言葉がありませんでした。

岡田光司 略歴

1960年東大阪布施生まれ。3歳から大阪生野で暮らす。元毎日新聞記者。大阪で100年続く造花業㈲ニューホンコン造花の元代表取締役。異業種交流会フォーラム・アイ元代表幹事。関西大学飛鳥史学文学講座振興会会長。南京大虐殺の歴史的事実を次代に引き継ぐ活動、大阪市立東生野中学校夜間学級学習補助、いくのパークふくろうの森図書館、在日コリアン高齢者の生活支援にもかかわる。

その言葉は、高さんが亡くなられた後も、私の胸の奥に棘（とげ）のように突き刺さっています。チクチクと痛みます。その棘は痛みだけではなく、私に力をも与えてくれます。日々過ごす中で示唆も与えてくれます。それは私だけの痛みではなく、実は高さんの痛みでもあった。私に分けてくれたんだ。2012 年 12 月 12 日に高さんが亡くなられてから気がつきました。

2022 年秋、高さんの妻林芳子（イムパンジャ）さんから、「高仁鳳が亡くなって 10 年目の節目になる。ついては集会を開きたい。実行委員長を引き受けてくれませんか」と依頼されました。その際、真っ先に思い浮かんだのはこの高さんの言葉「もう遅すぎる」です。「日本人の私が委員長でいいのだろうか」「もっと適任の方がいらっしゃるはず」と戸惑いながらもお受けしたのは、胸がうずいたからです。

朝鮮戦争で兄を徴兵され、母を病気で亡くし孤児のようになった高さん。その壮絶で悲惨な体験から「戦争は絶対にダメだ」の強い信念を持ち、「朝鮮半島と日本の友好親善」「南北の平和的自主統一」に力を注ぎました。がんに侵され亡くなる 3 か月前（2012 年 8 月）には、大阪商工会議所異業種交流会フォーラム・アイの「平和を考える勉強会」で 150 人の聴衆を前に平和を訴えました。自転車で韓国を巡り、その自転車で 38 度線を越えるのが夢でした。日本に戻り始めた印

ハングル電算写植編集機１号機導入

「韓国自転車巡り」の自転車と旗

上 / 展示パネルを観覧する参加者たち　下 / 実行委員・スタッフの皆さん

刷業では、韓国語と日本語が同時に編集できる電算写植機を世界で初めて導入するなど、画期的な業績を残されました。学校法人白頭学院建国学校「幻のフィルム」も制作しました。

2023 年 3 月 4 日に大阪市立生野区民センター・リゲッタ IKUNO ホールで開いた「没後 10 年 高仁鳳の軌跡 ～ソウルと大阪の狭間で～」において、高さんの生涯のいくばくかを「講演、映像、思い出語り、独唱、展示」で蘇らせました。多くの方々のご協力の下、200 人を超える方にお集まりいただきました。

高さんからもらった棘は今も私の胸の中にあり、時折痛みます。私は周りにこの痛みを分けていこうと思っています。尊大な言い方になりますが、高さんと私の痛みを、高仁鳳没後 10 年集会に参加された方々に少しはお分けできた。それは、高さんの平和への希望、すなわち「朝鮮半島と日本の友好親善」、「南北の平和的自主統一」を叶えることに一歩でも近づいた。痛みとともにかすかな希望を抱く 200 人の一歩となって。

高さん、遅すぎませんよね。

3月4日「記念行事」に参加して

城　みどり
元パウリスタ工房（印刷・福岡）

1年前のお正月に「ナルゲ」新年号（56号）を手にして、「3月4日・記念行事」のあることを知り心躍る思いで参加させていただきました。私は1980年代に九州・福岡で、ハングル組版（写植）をほんの少し手がけていたことがご縁で、30年前（1995年）に高仁鳳（コウインボン）さん、高允哲（コウユンチョル）さんがお仕事で来福の折に私共の仕事場に立ち寄ってくださり、お話しを交わすことが出来ました。それから今までKBSの皆さまには直接お会いする機会もないまま、毎年送っていただく「ナルゲ」の一読者で終わるところでした。

4日当日のプログラムは、展示資料、映像、石川亮太先生の講演、皆さまの色々のスピーチ、記念の歌唱などいっぱいで豊かな時間を共にしました。翌5日の朝には思いがけなく鄭炳熏（チョンビョンフン）さんに案内していただきコリアタウンと御幸森神社、大阪コリアタウン歴史資料館（4月29日オープン）などを歩きました。長いこと空白のままだった部分をようやく埋めることができた思いで帰福いたしました。

「ナルゲ」のバックナンバーは遡って読み直し新たな発見も沢山ありましたが、記憶に残っていたのはKBS皆さまの国内外の社員旅行・野外での食事親睦会のレポート等いつも明るくとても楽しそうでうらやましかったこと、ハングル講座には近くだったら参加させてもらいたかったこと、多言語でお仕事が進められている様子は毎回興味深いものでした。

当日の記念冊子の末尾添付資料にある「小熊英二・姜尚中編在日一世の記憶」の中には、仁鳳さんが「朝鮮戦争」前後をはさんでの10年間を韓国で生き抜いた貴重な体験談が記録されているのを知りました。

石川先生の「ナルゲ55号、56号」の「会社の歴史、働く人の歴史」は復習のように読み、また当日いただいた2冊の「論文集」は専門的な内容でもあるので、充分に読み込むことは出来ていないのですが、お話しをじかに伺ってから手にしましたので実のあるものになったと自己満足しております。僑文社・KBSの歴史、1972年の手動写植機導入から電算化、MACへの道のりへ発展する姿を、何となく私自身の過去と重ね合わせて引きこまれるように読みました。仁鳳さんの在日社会での大きな社会的なお仕事も深く考察されていて、また高さんご家族のエピソードも登場してほほ笑ましく、石川先生のお人柄が思われました。

実は仁鳳さんの遺されているブログは、以前に開いて見たことがなくて3月4日以後に初めて拝見することになり、私が今まで知らずに素通りしてきた仁鳳さんの南北の平和的統一への思い、夢を描いて旅を続けていらしたこと、闘病生活のこと、芳子（バンジャ）さんのお働きなどの大きさを知らされました。

仁鳳さんに再会したような良い機会をいただいて皆さまにお礼を申しあげます。皆さまにおかれましてもたゆみない歩を進めて行かれますように祈念いたします。

1995.8.5 パウリスタ工房にて。 中央 城みどりさん、右 高仁鳳

高仁鳳氏の写真

古河　潤一

私は仁鳳（インボン）氏の古いネガから40×60センチの大全紙版の印画紙へのプリントを依頼された。このデジタル全盛の時代に「まだ、そんなことをやっているのか」とあきれられながらも『写真芸術とは何か』と日々研鑽している中での、人づての依頼であった。

「材料費いじょうはいただきません」という条件で引きうけた。

よく、「ネガは素材、プリントで写真は完成」と言われるし、プリントを人が見て、はじめて写真芸術は成就すると思っている。

仁鳳氏が写ったネガをあずかった。他者（撮影者）の撮ったネガを引き伸ばすのは難しい。苦しい。撮影者の意図と撮られた人の思いを汲んで、その気持ちを背負ってプリントする。あるいは、私ならばこうプリントする、自分の芸術としてやる。このふたつの方法のせめぎあいの中で、ひとり、暗室で作業をする。

しかし、そこに印画紙上にあらわれるのは、高仁鳳その人の生きざま、ありようである。

日本の植民地支配と朝鮮半島を蹂躙した戦争の歴史の中で母を失い生きぬいた人と聞いた。大阪で印刷業をいとなみ、日本語・韓国語の同時写植と印刷をなしとげた人と知らされた。

その人の姿を印画紙上にやきつける。どうする。小さな印画紙片でのテストやきをくりかえす。明るい部屋で見て、「これでいいか」。何とか、大全紙版にやきあげる。

1954年秋、ソウルにて 13才の高仁鳳

しかも、仁鳳氏の写真は大半が小さなプリントがあるだけで、ネガフィルムがない。そこで、その小さな写真を再度フィルムで撮りなおしてプリントするしかない。

この企画のチラシ、ポスターでつかわれた高仁鳳少年の朝鮮での写真は小さい。彼はこの写真を大切に持ち歩いていたようで、いくつもの折れ傷がついている。

この小さな写真をセットして接写レンズで、ピントをとる。彼の姿がファインダーにうかびあがる。少年が立っている。撮り手が向き合う。その場所。その時。ふたりの関係や気持ち。それが私をつらぬく。瞬間、シャッターが落ちた。

現像したネガを40×60センチに引き伸ばす。印画紙にやきつける。暗室の仄暗い赤い光の中で、少年高仁鳳の笑顔がうかびあがった。強い人。

この仕事、引きうけた時、「できるのか」という思いもあった。この仕事、写真芸術であったが、高仁鳳というひとりの人の肖像画を描くことであった。何か、彼の強さ、あの笑顔に支えられて、かろうじてやり切れた。写真芸術に励む者にとって、得がたい体験、よろこびでした。私にこの仕事を下さった方々に感謝いたします。

機会があれば、ネガをもう一度お貸し下さい。よりよい肖像画として、描きあげたいと思います。

古河潤一 略歴

大阪生まれ、大阪育ち。今大阪で介護ヘルパーとして、東成、生野の方々とともに生きています。

インドネシア

Industri Digital Tercinta

愛するデジタル業界

インドネシア語翻訳者　ルルス・ストポ

Halo, perkenalkan nama Saya Lulus. Saya tinggal di Indonesia, sebuah negara di Asia Tenggara dengan penduduk 280.000.000 jiwa, saat ini menempati posisi keempat di dunia di bawah China, India, dan Amerika Serikat. Sekitar 49.4% (140.000.000) penduduk Indonesia berusia 13-44 tahun yang umumnya adiktif terhadap penggunaan internet dan media sosial. Menurut laporan dari We Are Social Hootsuite bulan Januari 2023. Pengguna internet di Indonesia yang mengakses Youtube mencapai 140.000.000 juta orang. Sebagai penerjemah, ini tentunya menjadi tantangan baru, membawa konten kreator asing untuk mencoba memaparkan produk, pengetahuan dan ide mereka ke Indonesia. Kesempatan besar ini harus disikapi dengan persiapan dan strategi yang tepat.

Saat ini, apapun yang tayang di media sosial akan memiliki segmen di Indonesia. Banyak kreator hobi, permainan, politik sampai vlog harian yang penontonnya begitu banyak. Tidak mengherankan bila ada kreator Indonesia dengan materi gaming bisa memiliki subscriber 36.000.000 orang, atau podcast dengan subscriber 20.000.000.

Lalu bagaimana kreator global menanggapinya?

Setelah saya cek secara aktual di Youtube Indonesia, dominasi 20 kreator luar negeri dengan subscriber local terbanyak adalah China (1), Amerika (3), Korea (6), Canada (2) dan Rusia (2). Jepang hanya 1 channel saja. Konten asing yang menjadi raja di Indonesia adalah konten anak BabyBus Channel dsb. Lalu siapa yang membuat BabyBus Channel bisa dipahami di Indonesia? tak lain dan tak bukan adalah penerjemah. Penerjemah dapat berperan aktif membawa budaya negara asing dan pengetahuan baru untuk kemajuan generasi berikutnya. Sebagai penerjemah konten digital, pekerjaannya pun semakin bervariasi. Mulai dari meriset materi konten, menerjemahkan subtitle dan telop, mengambil gambar original, alih suara, maupun editing. Meskipun harus investasi perangkat pendukung, saya merasa itu akan segera terbayarkan.

Pasar digital memberikan ruang baru bagi penerjemah untuk mendapatkan kestabilan pemasukan, karena kreator akan berusaha membuat konten secara regular untuk memasarkan produknya. Penerjemah pun dapat berkontribusi pada usaha kecil menengah seperti restoran, seniman, biro travel, hingga HR bisnis di negara yang jauh di sana untuk mendapatkan customer dan sumber daya dari Indonesia. Youtube, X, Instagram adalah sahabat bagi penerjemah.

こんにちは、ルルスと申します。私は東南アジアの人口2億8千万人のインドネシアに住んでいます。

現在、インドネシアの人口は中国、インド、米国に次いで世界4位になっている。発展途上国のインドネシアでは13歳～44 歳の人口が約1億4,000万人もいて、やはりインターネットとソーシャルメディアの使用に依存している時代になっている。2023 年1月時点のWe Are Social Hootsuiteの報告によると、インドネシアのYoutube利用者は1億4,000万人に達した。これは確かに新しい機会であり、翻訳者の立場である私はどうやって外国のコンテンツクリエイターが各々の製品、知識、アイデアをインドネシア市場に持ってくるのか大きなチャレンジになると考えている。ただし、その準備と作戦を立てなければならない。

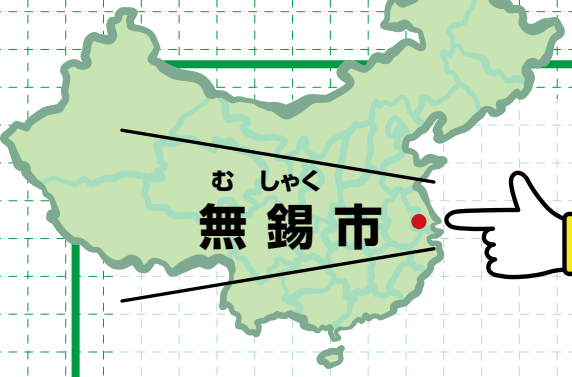
視聴者国民の面からみると今、どんなコンテンツでもセグメントを持っている。趣味、ゲーム、政治、日常のVlogまで数千万人の登録者を獲得しているクリエイターがたくさんいる。

ビデオゲームプレイヤーの個人クリエイターが3,600万人の登録者を獲得したり、ポッドキャストの登録者が2,000万人以上になったりすることも驚くべき状況ではなくなっている。

グローバルクリエイターはこの推移にどう反応しているか。

実際に ユーチューブインドネシアで現場確認をしたところ、国内の登録者数が最も多い外国人クリエイター 20チャンネルの内、中国（1チャンネル）、アメリカ（3チャンネル）、韓国（6チャンネル）、カナダ（2チャンネル）、ロシア（2チャンネル）などが優勢である。 少し悲しいが、日本は1チャンネルしかない事実。 インドネシアで最も人気な海外コンテンツは、ベビーバスチャンネル等子供向けコンテンツである。では、インドネシアでベビーバスチャンネルのコンテンツを楽しめるように誰が役に立っているか考えると、翻訳家でしょう！！翻訳者は、次世代の進歩のために外国の文化や新しい知識をもたらす上で積極的な役割を果たせる。もちろん、デジタルコンテンツの翻訳をする時にはますます多様な業務が発生する。コンテンツ素材のリサーチから始まり、字幕・テロップの翻訳、原画撮影、アフレコ、編集まで色々とクリエーターサポートを提案できる。そのための設備投資は必要だが、チャンスも山ほど多い気がする。

クリエイターは製品やサービスを売るために定期的にコンテンツを制作・配信しなければならないため、デジタルコンテンツ翻訳者にとって安定した収入を得られる新たな市場だと思われる。遠く離れた国からのレストラン、アーティスト、旅行代理店、人材紹介などの中小企業が、インドネシアから顧客やリソースを獲得できる支援活動は、私自身にとってこれまで考えられなかった貢献だった。現在はYoutube、X、Instagram、Facebookは翻訳者の親友だと言えるだろう。



コロナ後の初中国帰省

翻訳部　呂　咏鴻

無錫南禅寺（京都のと同名）の近くのグルメ横丁

2023年の春から、日中間の水際対策が撤廃され、日本在住の中国人は続々と帰省を始めました。但し、中国渡航の日本人のビザ免除措置がまだ停止中のため、日本人妻と子どもはビザ申請が必要なので、私達家族が行きたいと思っても、すぐ行けるわけではなかったのです。これはコロナ前と変わりました。中国ビザ申請は面倒で時間もかかります。私の場合は夏から準備を始めてビザ取得まで2ヶ月程度かかりました。そして11月2日～6日家族全員で中国帰省をすることに決めました。

やっと帰省できるようになりました。ワクワク！ドキドキ！コロナ騒動で中国国内社会は大きく変わったそうで、行く前は少し不安を抱えていました。実際に行ったら、今回の中国出入国は意外と順調でした。コロナ前の正常な状態と同じです。私はセルフ検査の自動ゲートを利用して10秒で通過でき、スムーズでした。

2023年中、インバウンドは大幅回復していますが、訪日中国人観光客はコロナ前の水準にまだ遠いそうです。しかし、関西空港で耳のそばに中国語が飛び交い、中国人団体客の姿も見られました。

私の故郷は上海の北西約130kmにある日系企業集積地の江蘇省無錫市です。関西空港と直行便が現在毎日1便で運航しており完全にコロナ前の状態に戻りました。往復とも搭乗率は約70%に達し乗客の大半は中国人（団体客も含む）で、日本人ビジネスマン数名及び1人の欧米人もいました。日中間の往来は回復しているようです。

中国の街中は正常な状態に戻っているように思いました。防疫対策は一切不要で自由行動ができます。公共交通機関の運転手や公共の場のスタッフの一部はマスクを着用していますが、地下鉄やバスの乗客及び街中の住民の大半はマスクなしです。公園や商業街などでは人出があり食べ歩きの姿も見られました。（写真①）

中国はQRコード決済が普及したのでスマホ決済を使わないと中国に行ったら困るという話題を日本でよく聞きますが実はそうでもないです。私は遊園地で人民元の札を使いましたよ。ほとんどの店や施設や屋台や地下鉄の券売機で現金はまだ使えます。ただQRコード決済は優先で推奨されています。でも、お寺で意外と賽銭箱はまだ存在し大勢のコインを投入する参拝者がいましたが、本殿内の仏像の横で大きなQRコードの看板が立っています。見てみると寺院への寄付用のQRコードです。（写真②）面白い発見でした。

今回はタイミングよく3年10ヶ月ぶりに中国帰省・家族団らんができ全て順調でした。私の日本でかかった花粉症鼻炎の症状さえも滞在中全く出なかったのです。コロナ後親と再会できてみんな元気で何よりでした。故郷の無錫は中国のある程度社会安定で豊かな都市ですが、中国全体は広くて格差が大きいから一概に言えません。昨今、世界の情勢は不安定ですが、世界平和であるようまた来年以降も帰省団らんができるよう祈ります。

疫情后的首次回国探亲

2023年春天以来，随着中日两国撤销入境防疫措施，住在日本的中国人陆续开始回国探亲。但是，由于中国对日本人的免签证政策尚未恢复，我的日本妻子和孩子需要申请签证，因此我们一家即便想去也并非立刻就能去的。这一点与疫情前发生了变化。申请中国签证很麻烦也很费时间。我是从夏季开始准备到获取签证耗时2个月左右。然后定于11月2日至6日全家一起回中国探亲。

终于能回国探亲了。激动兴奋又有些忐忑！听说经历疫情后中国国内社会变化很大，在动身前我还是抱有少许不安的。实际去了以后，这次中国出入境比预想的顺利，和疫情前的正常状态一样。我走了自助边检快捷通道仅10秒就通关了，很顺畅。

2023年，外国人赴日旅游大幅度恢复，然而赴日中国旅客却离疫情前的水平尚远。但是，在关西机场到处都能听到中文，也能见到中国团体旅客的身影。

我的家乡是位于上海西北方约130km的日资高地江苏省无锡市。和关西机场有直航，每天往返一班，已经完全恢复至疫情前的状态。这次来回飞机上座率均达70%，乘客大部分是中国人（包括团体旅客），还有几位日本商务人士及一位欧美人。中日间的往来看上去恢复起来了。

中国的城市中感觉好像也恢复正常了。无需任何防疫措施可以自由行动。公共交通工具的司机及公共场合的工作人员部分仍戴口罩，地铁公交车的乗客及路人们大多不戴口罩了。公园和商业街等地人也不少，也有人边走边吃（照片①）。

在日本常听说中国扫码支付很普及而如果不用手机支付的话去了中国会寸步难行的话题。实际上也并非如此。我在游乐园还用了人民币纸币呢。大多数的店家、设施、小摊以及地铁售票机还是可以使用现金的，只是优先并鼓励使用扫码支付。但是，意外发现寺院里功德香还在，有投入一把硬币拜佛的香客，但是正殿中的佛像旁竖着一块好大的二维码电光板。仔细一看原来是给寺院捐赠用的二维码（照片②）。很有意思。

無錫南禅寺の仏像の横にある寄付用のQRコード

这次时隔3年10个月实现了回国探亲和家人团聚，时机很好全部顺利。就连我在日本得的花粉症鼻炎在中国期间也未出现任何症状。疫情后能和父母重逢看到大家都好好的，这胜过了一切。我的家乡无锡在中国一定程度上算是社会安定和谐的城市，而中国很大地域差异很大，无法一概而论。近来世界局势不稳，在此我祈祷世界和平并且明年以后还能探亲团聚。

総務部　松本 佳代子

保育園時代のお弁当

娘の春の遠足のお弁当。お内裏様の勺はチーズ、お雛様の扇はハム。

娘が初めて作った料理

娘の家庭科の宿題。野菜とウィンナーのケチャップ炒め。

毎年年末に、わが家、私の実家、姉の家と3家族分のおせちを姉と協力して作っています。

私はお煮しめ・ふくさ玉子・かまぼこ（切るだけ）を用意するのみで、肉巻き・のし鶏・栗きんとん、紅白なます・ごまめなど、手間のかかる料理は姉におまかせ…。ちなみに、黒豆は母におまかせ…。

洗い物は私がするからね！

ケーキバイキング

ちょうどハロウィンの時期だったのでケーキもモンスター！

スマホに保存している思い出の料理など

制作部　稲木　隆文

屋台風ホームパーティ

ご近所４家族がお祭りをイメージして持ち寄りました。

釣ってきたアジ

大阪湾で釣ってきたアジの刺身・なめろうフライです。

収穫まで９年かかった柚子

2014年に植えた柚子の木がやっと実をつけてくれました。

我が家は和歌山県に近く、南高梅が手に入りやすいので毎年梅酒を漬けています。左が漬けたばかりで、右が３年経って飲み頃になった状態です。

ロックはもちろん水や炭酸で割っても美味しいです！

「マダンの児」著者　朴禮和オモニからの贈り物

フェイスブックは、過去の思い出を教えてくれる。12月16日は「マダンの児」出版記念会のお知らせだった。2018年、もう5年。KBS創業50周年を記念して思い切って出版した。なんの見通しもなく、ただ約束を果たさねばという思いだった。

朴禮和（パク イェファ）さんは、2023年5月14日永眠された。誰にも知らせないでと言い遺され、家族葬で見送られた。コロナ渦の最中ではあっても寂しく、しかしオモニらしいなと思った。ひとつきほどして、息子の鄭炳熏（チョンビョンフン）さんが来られ、小さな文箱をオモニの遺品として届けてくださった。朱色のふたを開けてみると、小さなカードと封筒のセットが入っていた。メッセージ用紙付二つ折りカードと、きれいな模様の手折封筒にシールもついていて、それが1セットずつ透明の袋に入っている。

カードには一枚ずつ四季の花やさまざまな景色、魚や馬などが水彩絵具で描かれていて、Merry Christmasと書かれたカード40セット、Happy Easterと書かれたカード14セットあった。「マダンの児」にも挿絵が描かれているが、彼女は画家になりたかったのでは、と思った。

「マダンの児」の読者から、「マダンの児」の続編を出してほしいという声をよく聞いている。「マダンの児」で描かれたのは小学校卒業までだ。女学校推薦入学で進学の目前、名古屋空襲により学校も家も焼け、終戦とともに進学が叶わなくなった。

戦後の混乱期に十代で結婚、大阪イカイノに引っ越し、平野川沿いのアパートでミシン仕事をしながら働き続け、やっと息子二人を育て上げた。子どもの成長後、勉強好きがむくむくと頭をもたげ、僑文社（KBSの前身）に息子と勤めながら夜間中学に入学、その後夜間高校へ進学・卒業された。会社の昼休みにも英語を独習する熱心な姿はわたしの目に焼き付いている。

その後ついにカナダへ語学留学を実現。その間いったん仕事をやめていたが、その後復帰された。そのころはKBSではもうパソコン時代になっていた。60歳を超えてパソコン入力に挑戦され、ハングル、日本語、英語などの入力を担当された。KBS退職後は、鄭炳熏さん夫妻のコリアボランティア協会を手伝っておられた。

このカードはその合い間をぬって日々ていねいに作製されたのだろう。心温まるクリスマスカード・イースターカード、一枚一枚に込められた想いを心に刻んでいきたい。

年末年始休業日のお知らせ

過ぐる年も格別のお引立てとご愛顧を賜り、まことにありがとうございました。
年末年始を下記の通り休業させていただきます。
新しい年も、なにとぞお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

12月29日(金)～1月4日(木)

1月5日(金)午前中営業、1月9日(火)より平常通り営業いたします。

【個人情報の取扱について】

この社内報「ナルゲ」は、お取引先・外注先・協力関連先の皆様にお送りしております。
ケイビーエス株式会社は、お客様の個人情報を合理的かつ適切に管理し、業務の目的以外に使用いたしません。また、法令に基づき開示が義務づけられるなどの特段の事情がない限り、第三者に開示・提供することはありません。
当社が管理するお客様自身の個人情報について、お客様から内容確認、修正・更新・削除の要請を受けた場合には、お客様の意思を尊重し、合理的な範囲で必要な対応をいたします。
当社は、お客様の個人情報の保護に関する法令・規範を遵守すると共に、その取り扱いについては、適宜その見直しと改善に努めます。

発行日　2024年1月1日

編集／発行　ケイビーエス株式会社
〒544-0033
大阪市生野区勝山北2-16-17
電話　06-6716-5665
FAX　06-6711-2804
E-mail　info@kbsjapan.com
URL　http://www.kbsjapan.com/

編集後記

●2023年は「関西の年」じゃないかと思います。プロ野球では阪神が日本一になり、パリーグはオリックスが優勝。社会人野球では大阪ガスが優勝。サッカーJリーグもヴィッセル神戸が優勝しました。2023年が関西疾走初年度で2025年の万博まで勢いそのままに駆け抜けたいですね。（稲木）

●2023年、コロナ明け・脱マスク・コロナ後の初出国帰省を経てあっという間に一年が終わります。もともとナルゲの記事はSNSで話題となったAIや機械翻訳による笑い話について書こうと考えたのですが、中国へ帰省したので語学のテーマにしませんでした。2024年は大阪万博の前の1年です。より良い多言語の文字作品をお届けできればと思いますね。（呂）